

* 心臓発作や脳卒中の受診に関するアンケート調査

このたび、平成19年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)「急性心筋梗塞と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究」(主任研究者 野々木宏)の一環として、第一線で診療にあられる先生方が、急性心筋梗塞、脳卒中に関して、患者様にどのような情報提供をされているか、また診療においてどのような対応をされているかを、アンケート調査することとなりました。

ご多忙のなか大変申し訳ありませんが何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なおアンケート結果につきましては厳重に管理し、個人情報につきましては十分な体制で保護いたします。

まずは、急性心筋梗塞に関してお伺いします。

(全員対象)



Q1. 貴院から“最も近い”急性心筋梗塞の対応が出来る救急医療機関までの搬送時間はどのくらいでしょうか。搬送時間が1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)



Q2. 最近 1 カ年以内に、貴院から急性心筋梗塞の対応が出来る救急医療機関まで、急性心筋梗塞の患者様(疑いを含む)を搬送しましたか。

(回答は1つ)【必須】

1.	搬送した
2.	搬送していない

Q2-1 は Q2 が「1」の場合表示

Q2-1. 最近 1 カ年以内に、貴院から救急医療機関に搬送した急性心筋梗塞が疑われる患者様は何人程度でしたか。

(数値入力)【必須】

1.		人
----	--	---

Q3 は Q2 が「1」の場合表示



Q3. 貴院から救急医療機関へ急性心筋梗塞が疑われる患者様を搬送するまでに要した時間(滞在時間)は平均でどのくらいでしたか。

搬送時間が1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)

Q4. 最近 1 カ年以内に、急性心筋梗塞が疑われる患者様を、先生ご自身が診察されましたか。

(回答は1つ)【必須】

1.	はい
2.	いいえ

Q4-1 は Q4 が「1」の場合表示

Q4-1. 最近 1 カ年以内に、先生ご自身が診察された急性心筋梗塞が疑われる患者様は何人程度でしたか。

(数値入力)【必須】

1.		人
----	--	---

(全員対象)

Q5. 糖尿病、高脂血症(脂質異常症)、高血圧症などの危険因子を有する患者様に対して、先生ご自身で急性心筋梗塞に関する情報提供や説明を行っていますか。(心筋梗塞の既往歴がある患者様は除く)


(回答は1つ)【必須】

1.	行っている
2.	行っていない

Q6 は Q5 が「1」の場合表示・・・Q5 が「2」の場合は、Q6～Q14 までスキップ

Q6. 先生はどのような患者様に対して、急性心筋梗塞に関する情報提供や説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】



1.	特にリスクが高いと判断した患者
2.	高齢者
3.	女性
4.	全ての患者
5.	特に決まっていない
6.	その他(具体的に:)

Q7 は Q5 が「1」の場合表示

Q7. 先生はどのように急性心筋梗塞に関する情報提供や説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】

1.	どのような病気であるか簡単に説明をしている
2.	発症の危険因子、生活習慣での注意について説明している
3.	発症時のサインについて説明をしている
4.	発症した際の対処方法についての説明をしている
5.	その他(具体的に:)



Q8 は Q7 が「2」の場合表示

Q8. 急性心筋梗塞に関して、先生はどのような「発症の危険因子」について説明を行っていますか。
(回答はいくつでも)【必須】

1.	肥満
2.	たばこ
3.	飲酒
4.	高血圧
5.	高コレステロール
6.	糖尿病
7.	ストレス
8.	遺伝
9.	その他(具体的に:)



Q9 は Q7 が「3」の場合表示

Q9. 急性心筋梗塞に関して、先生はどのような「発症のサイン」について説明を行っていますか。
(回答はいくつでも)【必須】

1.	胸の圧迫される痛み
2.	みぞおちの痛み
3.	息苦しさ
4.	のどや下あごの痛み
5.	頭痛
6.	背中痛み
7.	その他(具体的に:)

Q10 は Q7 が「4」の場合表示

Q10. 平日の日中に、急性心筋梗塞を疑う症状が出現した時に、どのような行動を取るよう指導をされているでしょうか。(心筋梗塞の既往歴がある患者様は除く)

最も多く指導されている内容を1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
3.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
5.	すぐに、119番にコールするよう指示
6.	しばらく経過をみて、改善が無ければ119番にコールするよう指示
7.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するよう指示
8.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するよう指示
9.	その他(具体的に: _____)

Q11 は Q10 が「2」,[4],[6],[8]の場合に表示

Q11. 平日の日中に、急性心筋梗塞を疑う症状が出現した時に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1~59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1~59」を入力してください。

Q12 は Q7 が「4」の場合表示

Q12. 夜間や休日に、急性心筋梗塞を疑う症状が出現した時に、どのような行動を取るよう指導をされているでしょうか。(心筋梗塞の既往歴がある患者様は除く)

最も多く指導されている内容を1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
3.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
5.	すぐに、119 番にコールするよう指示
6.	しばらく経過をみて、改善が無ければ 119 番にコールするよう指示
7.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するよう指示
8.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するよう指示
9.	その他(具体的に: _____)

Q13 は Q12 が「2」,[4],[6],[8]の場合に表示



Q13. 夜間や休日に、急性心筋梗塞を疑う症状が出現した時に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ: 1 時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)

Q14. 患者様から電話があり、急性心筋梗塞の疑いがある内容であった場合、先生はどのように対応されますか。(心筋梗塞の既往歴がある患者様は除く)

先生のお考えに最も当てはまるものを1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
3.	すぐに、119 番にコールするよう指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければ 119 番にコールするよう指示
5.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するよう指示
6.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するよう指示
7.	その他(具体的に: _____)

Q15 は、Q14 で「1」、「2」を選択した場合のみ表示

Q15. 先生は急性心筋梗塞の疑いがある患者様から電話があった場合に「来院を指示」と回答されましたが、その理由をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	目の前で患者様の話を聞き、診察をした上でないと、救急医療機関を受診する必要があるかどうか判断がつかないから
2.	まずはかかりつけ医(貴院)が対応することが必要だから
3.	すべての患者様が発症の疑いで救急車を呼ぶと、本当に救急車が必要な患者様への対応が遅れる可能性があるから
4.	その他(具体的には:

Q16 は、Q14 で「5」、「6」を選択した場合のみ表示

Q16. 先生は急性心筋梗塞の疑いがある患者様から電話があった場合に「救急医療機関を自分で受診するように指示」と回答されましたが、その理由をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	直接、救急医療機関を受診した方が早いから
2.	症状がそれほど強くなければ、自分で救急医療機関を受診することでも大きな危険はないから
3.	すべての患者様が発症の疑いで救急車を呼ぶと、本当に救急車が必要な患者様への対応が遅れる可能性があるから
4.	その他(具体的には:

Q17 は Q14 が「2」,[4],[6]の場合に表示

Q17. 急性心筋梗塞の疑いがある患者様から電話があった場合に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1~59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ: 1 時間未満の場合、「分」には「1~59」を入力してください。

(全員対象)

Q18. 患者様が来院し、急性心筋梗塞の疑いがある場合、先生はどのように対応されますか。(心筋梗塞の既往歴がある患者様は除く)

先生のお考えに最も当てはまるものを1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)にて治療をする
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければ、かかりつけ医(貴院)にて治療をする
3.	すぐに、救急医療機関に搬送する
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければ、救急医療機関に搬送する
5.	その他(具体的に: _____)

Q19 は Q18 が「2」,[4]の場合に表示

Q19. 患者様が来院し、急性心筋梗塞の疑いがある場合、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ: 1 時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

ここからは、脳卒中に関してお伺いします。

(全員対象)

➡ Q20. 貴院から“最も近い”脳卒中の対応が出来る救急医療機関までの搬送時間はどのくらいでしょうか。

搬送時間が1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)

➡ Q21. 最近1ヵ年以内に、貴院から脳卒中の対応が出来る救急医療機関まで、脳卒中の患者様(疑いを含む)を搬送しましたか。

(回答は1つ)【必須】

1.	搬送した
2.	搬送していない

Q21-1 は Q21 が「1」の場合表示

Q21-1. 最近1ヵ年以内に、貴院から救急医療機関に搬送した脳卒中が疑われる患者様は何人程度でしたか。

(数値入力)【必須】

1.		人
----	--	---

➡ Q22 は Q21 が「1」の場合表示

Q22. 貴院から救急医療機関へ脳卒中が疑われる患者様を搬送するまでに要した時間(滞在時間)は平均でどのくらいでしたか。

搬送時間が1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)

Q23. 最近1ヵ年以内に、脳卒中が疑われる患者様を、先生ご自身が診察されましたか。

(回答は1つ)【必須】

1.	はい
2.	いいえ

Q23-1 は Q23 が「1」の場合表示

Q23-1. 最近 1 年以内に、先生ご自身が診察された脳卒中が疑われる患者様は何人程度でしたか。

(数値入力)【必須】

1.		人
----	--	---

(全員対象)

Q24. 糖尿病、高脂血症(脂質異常症)、高血圧症などの危険因子を有する患者様に対して、先生ご自身で脳卒中に関する情報提供や説明を行っていますか。(脳卒中の既往歴がある患者様は除く)


(回答は1つ)【必須】

1.	行っている
2.	行っていない

Q25 は Q24 が「1」の場合表示・・・Q24 が「2」の場合は、Q25～Q33 までスキップ

Q25 先生はどのような患者様に対して、脳卒中に関する情報提供や説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】



1.	特にリスクが高いと判断した患者
2.	高齢者
3.	女性
4.	全ての患者
5.	特に決まっていない
6.	その他(具体的に:)

Q26 は Q24 が「1」の場合表示

Q26. 先生はどのように脳卒中に関する情報提供や説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】

1.	どのような病気であるか簡単に説明をしている
2.	発症の危険因子、生活習慣での注意について説明している
3.	発症時のサインについて説明をしている
4.	発症した際の対処方法についての説明をしている
5.	その他(具体的に:)

Q27 は Q26 が「2」の場合表示

Q27. 脳卒中に関して、先生はどのような「発症の危険因子」について説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】

1.	肥満
2.	たばこ
3.	飲酒
4.	高血圧
5.	高コレステロール
6.	糖尿病
7.	ストレス
8.	遺伝
9.	その他(具体的に:)

Q28 は Q26 が「3」の場合表示

Q28. 脳卒中に関して、先生はどのような「発症のサイン」について説明を行っていますか。

(回答はいくつでも)【必須】

1.	片方の手足に力がはまらない、しびれる
2.	顔半分がゆがむ
3.	呂律(ロレツ)がまわらない
4.	他人のいうことが理解できない
5.	片方の目がみえない
6.	両手に力が入らなくなる
7.	力はあるのに、立ったり歩いたりできない
8.	経験したことがないほどの激しい頭痛がする
9.	分からない

Q29 は Q26 が「4」の場合表示

Q29. 平日の日中に、脳卒中を疑う症状が出現した時に、どのような行動を取るように指導をされている
でしょうか。(脳卒中の既往歴がある患者様は除く)

最も多く指導されている内容を1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
3.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
5.	すぐに、119 番にコールするよう指示
6.	しばらく経過をみて、改善が無ければ 119 番にコールするよう指示
7.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するよう指示
8.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するよう指示
9.	その他(具体的に: _____)

Q30 は Q29 が「2」,[4],[6],[8]の場合に表示



Q30. 平日の日中に、脳卒中を疑う症状が出現した時に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間
を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1 時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

Q31 は Q26 が「4」の場合表示

Q31. 夜間や休日に、脳卒中を疑う症状が出現した時に、どのような行動を取るよう指導をされているでしょうか。(脳卒中の既往歴がある患者様は除く)

最も多く指導されている内容を1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への電話連絡を指示
3.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
5.	すぐに、119番にコールするように指示
6.	しばらく経過をみて、改善が無ければ119番にコールするように指示
7.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するように指示
8.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するように指示
9.	その他(具体的に: _____)

Q32 は Q31 が「2」,[4],[6],[8]の場合に表示

Q32. 夜間や休日に、脳卒中を疑う症状が出現した時に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1~59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1時間未満の場合、「分」には「1~59」を入力してください。

(全員対象)

Q33. 患者様から電話があり、脳卒中の疑いがある内容であった場合、先生はどのように対応されますか。(脳卒中の既往歴がある患者様は除く)

先生のお考えに最も当てはまるものを1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに(電話連絡なしに)、かかりつけ医(貴院)への来院を指示
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければかかりつけ医(貴院)への来院を指示
3.	すぐに、119番にコールするように指示
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければ119番にコールするように指示
5.	すぐに、救急医療機関に自分で受診するように指示
6.	しばらく経過をみて、救急医療機関に自分で受診するように指示
7.	その他(具体的に: _____)

Q34 は、Q33 で「1」、「2」を選択した場合のみ表示

Q34. 先生は脳卒中の疑いがある患者様から電話があった場合に「来院を指示」と回答されましたが、その理由をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	目の前で患者様の話を聞き、診察をした上でないと、救急医療機関を受診する必要があるかどうか判断がつかないから
2.	まずはかかりつけ医(貴院)が対応することが必要だから
3.	すべての患者様が発症の疑いで救急車を呼ぶと、本当に救急車が必要な患者様への対応が遅れる可能性があるから
4.	その他(具体的には:

Q35 は、Q33 で「5」、「6」を選択した場合のみ表示

Q35. 先生は脳卒中の疑いがある患者様から電話があった場合に「救急医療機関を自分で受診するように指示」と回答されましたが、その理由をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	直接、救急医療機関を受診した方が早いから
2.	症状がそれほど強くなければ、自分で救急医療機関を受診することでも大きな危険はないから
3.	すべての患者様が発症の疑いで救急車を呼ぶと、本当に救急車が必要な患者様への対応が遅れる可能性があるから
4.	その他(具体的には:

Q36 は Q33 が「2」,[4],[6]の場合に表示

Q36. 脳卒中の疑いがある患者様から電話があった場合に、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」>59 の場合

エラーメッセージ:1 時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

(全員対象)

Q37. 患者様が来院し、脳卒中の疑いがある場合、先生はどのように対応されますか。(脳卒中の既往歴がある患者様は除く)

先生のお考えに最も当てはまるものを1つお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	すぐに、かかりつけ医(貴院)にて治療をする
2.	しばらく経過をみて、改善が無ければ、かかりつけ医(貴院)にて治療をする
3.	すぐに、救急医療機関に搬送する
4.	しばらく経過をみて、改善が無ければ、救急医療機関に搬送する
5.	その他(具体的に: _____)

Q38 は Q37 が「2」,[4]の場合に表示

Q38. 患者様が来院し、脳卒中の疑いがある場合、「しばらく経過をみて」とは、どのくらいの時間を考えていますか。

1 時間未満の場合には、「時間」には「0」を入力し、「分」に「1～59」の数値を入力してください。

(数値入力)【必須】

約	1.		時間	2.		分
---	----	--	----	----	--	---

「1.(時間)」=0 かつ「2.(分)」> 59 の場合

エラーメッセージ: 1 時間未満の場合、「分」には「1～59」を入力してください。

全員の先生にお伺いします。

【付帯事項】

以下の項目は、結果を統計的にとりまとめるために必要ですので、是非ともご入力ください。

F1. 先生がここ 1 ヶ月間で診療されている総患者数(疾患を問わない)を実人数(延べ人数ではありません)でお知らせください。

(数値入力)【必須】

1.	総患者数(疾患を問わない)	人/月
----	---------------	-----

F2. 先生がここ 1 ヶ月間で診療されている以下の疾患の患者数を実人数(延べ人数ではありません)でお知らせください。

(数値入力)【必須】

1.	糖尿病	人/月
2.	高脂血症(脂質異常症)	人/月
3.	高血圧症	人/月

F3. 先生的主要診療科をお知らせください。

(回答はいくつでも)【必須】

1.	一般内科	8.	膠原病科	15.	産婦人科
2.	循環器科	9.	血液内科	16.	皮膚科
3.	腎臓内科	10.	神経内科	17.	泌尿器科
4.	消化器科	11.	精神・神経科	18.	耳鼻咽喉科
5.	呼吸器科	12.	外科	19.	小児科
6.	アレルギー内科	13.	整形外科	20.	眼科
7.	代謝・内分泌科・糖尿病科	14.	脳神経外科	21.	その他()

F4. 所属施設のベッド数をお知らせください。

(回答は 1 つ)【必須】

1.	無床(0床)	5.	100~199床
2.	1~19床	6.	200~299床
3.	20~49床	7.	300~499床
4.	50~99床	8.	500床以上

F5. 先生のご年齢をお知らせください。

(回答は 1 つ)【必須】

1.	20代	4.	50代
2.	30代	5.	60代
3.	40代	6.	70才以上

～アンケートは以上で終了になります。お忙しい中、ご協力いただき有難うございました。～

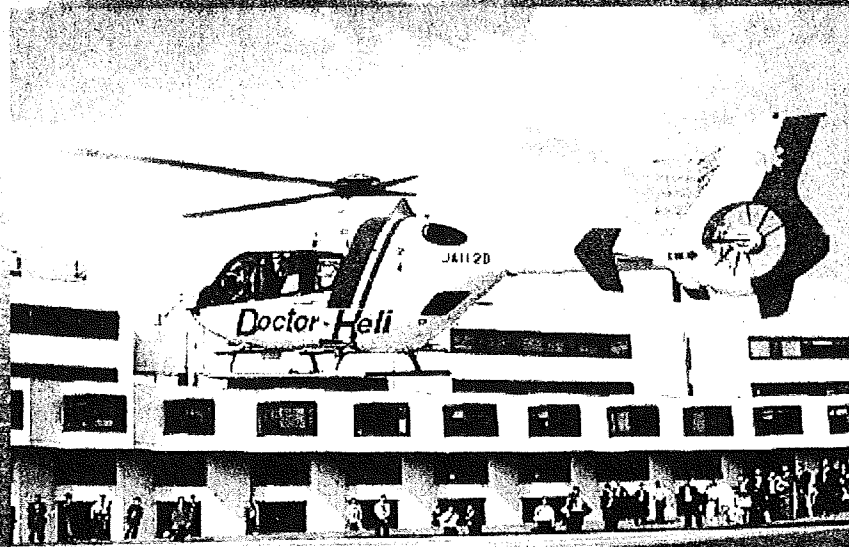
課題別資料

J-PULSE II -2

診療体制構築

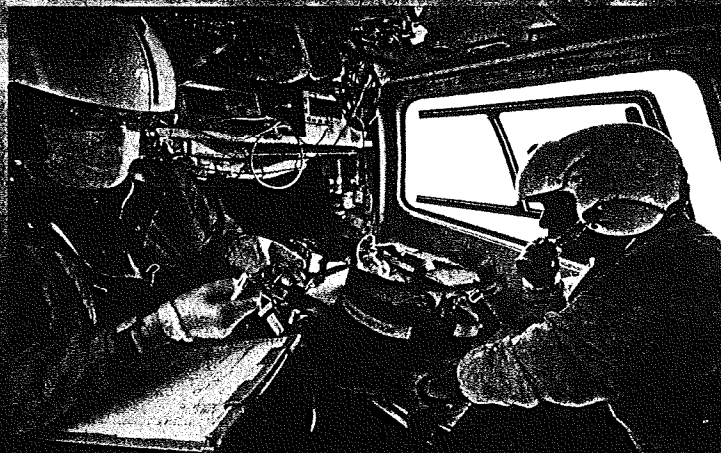
厚生労働科学研究 野々木研究班 第2回会議

ドクターヘリについて



中田 敬司
日本医科大学大学院 侵襲生体管理学

I ドクターヘリの概要



日本医大 千葉北総病院ドクターヘリ活動

ドクターヘリ導入促進事業実施要綱

目的

にドクターヘリを委託により配備

救急患者の救命率等の向上

広域救急患者搬送体制の向上

運営方針

の設置(地方自治体、医師会、消防機関等)→各種調整、地域住民の理解

・救急医療専用ヘリコプターのほか、操縦士、整備士、運航管理者を配備

・同乗する医師、看護師等の確保

<出動又は搬送>

・消防官署又は医療機関からの要請が原則

・範囲は県内全域(+必要に応じて隣県)

整備基準

・救命救急センターに隣接するヘリポートを有していること

・救急医療専用ヘリコプターについての十分な見識を有していること

・設置地域が事業効果を発揮するところであること

・救命救急センターがその運営に支障を来さず、事業に協力する体制を有していること

・消防機関との連携が緊密であること

ドクターヘリ導入促進事業

平成13年度 岡山県(川崎医科大学附属病院)

静岡県(聖隷三方原病院)

千葉県(日本医大千葉北総病院)

愛知県(愛知医科大学附属病院)

福岡県(久留米大学病院)

平成14年度 神奈川県(東海大学病院)

和歌山県(和歌山県立医大附属病院)

平成15年度 静岡県(順天堂大学医学部附属静岡病院)

平成17年度 北海道(手稲溪仁会病院)

長野県(佐久総合病院)

平成18年度 長崎県(長崎医療センター)

全10県11施設で運航

平成19年度 大阪府、埼玉県等の3県で予定

ドクターヘリ (Doctor-Heli)

● 厚生労働省ドクターヘリ事業 (平成13年～)

- 北海道(手稲溪仁会病院)
- 福島県(福島県立医科大学附属病院)
- 千葉県(日本医科大学千葉北総病院)
- 埼玉県(埼玉医科大学総合医療センター)
- 神奈川県(東海大学医学部附属病院)
- 静岡県(聖隷三方原病院)
(順天堂大学静岡病院)
- 長野県(佐久総合病院)
- 愛知県(愛知医科大学附属病院)
- 大阪府(大阪大学附属病院)
- 和歌山県(和歌山県立医科大学附属病院)
- 岡山県(川崎医科大学附属病院)
- 福岡県(久留米大学医学部附属病院)
- 長崎県(長崎医療センター)



ドクターヘリの配置

Geographic Information System

(地理情報システム)を用いた
ドクターヘリ最寄りの救命救急センター
までの所要時間の分析

主要な高速道路を含めた道路の整備状況
に基づいて計測したもの

★救命救急センターへの アクセス時間	
■	15分以内
■	16分以上30分以内
■	31分以上60分以内
■	61分以上90分以内
■	91分以上120分以内
■	120分以上
■	分析対象外

厚生労働科学研究
「都道府県における医療計画の現状把握と分析に関する研究」
東京医科歯科大学大学院 河原和夫

